

天草のキリスト教関連遺産ガイドブック
Oração de Amakusa

—オラシオ・デ・アマクサ—





天草 × キリスト教 この島々が語るもの

1566年、日本の西端に浮かぶ天草の島々にキリスト教は「伝来」しました。

天草の人々にとつて、その教えは心の拠りどころとなり、瞬く間に広がつていき、キリスト教は「繁栄」していきます。しかし、時代の波は過酷でした。自由と平等、そして愛の教えを信じたはずの人々は、幕府の厳しい「禁教」下で「潜伏」を余儀なくされます。長い禁制を経て、カトリックに「復活」し始めたのは、禁教を掲げた高札が撤去された1873年以降のことでした。

天草地方の教会堂や史跡は、250年以上もの困難に耐えた「潜伏キリシタン」のひたむきな愛と信仰を象徴するものです。

弾圧に耐え切れず、仏教や神道に帰依する者もいる一方で、「水方」と呼ばれる指導者のもと、神社や隠し部屋で「オラショ」を唱える等、この地独自の方法でひそかに信仰を継承した人々。秘蔵されたアワビや鏡、神像といった数多くの信心具は、禁教下の祈りのかたちを物語ります。



禁教が解かれ、カトリック教徒として復帰する人も多いなか、親から子へと受け継がれた信仰を続ける「かくれキリシタン」もいました。今富地区に伝わる「幸木飾り」や「臼飾り」と呼ばれる正月飾りは「かくれキリシタン」の名残を今に伝える風習です。

また、キリスト教とともに伝来した南蛮文化は、天草に大きな変化をもたらしました。「コレジヨ（神学校）」の設立や「グーテンベルク印刷機（金属活字活版機）」によつて学問が広まつていき、先進的で独自の文化が花開いたのです。

伝来から今日まで450年。この地にとつてキリスト教がもたらした文化や産物は、"特別な遺産"ではなく、繰り返す地域の日常そのものなのです。

目次	CONTENTS
イントロダクション	1
鶴田一郎氏インタビュー	3
天草のキリスト教の歴史	
第一章「伝来期」	5
第二章「繁榮期」	9
第三章「禁教期」	13
第四章「潜伏期」	17
第五章「復活期」	21
世界遺産登録について	25
キリスト教の歴史・年表	27
歴史探訪マップ	
天草全域・モデルコース紹介	33
大矢野島エリア紹介	35
上島エリア紹介	39
下島東側エリア紹介	43
下島西側エリア紹介	47
崎津・今富エリア紹介	51
交通アクセス情報	53



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン
関連遺産」の世界遺産登録をPR
するシンボルマーク。
「天草の崎津集落」は、この遺産群の
構成資産の一つとなっています。

オラシオ デ アマクサ
Oração de Amakusa

脈々と受け継がれる「祈りの地」。「祈りの歴史」。



描くこと 자체が祈りのようなもの。
私が描く、私のミューズ（女神）。
それは暗闇に差し込む
ひと筋の光でもあるのです。

画家・鶴田一郎と歩く
キリストンの里・崎津

画家・イラストレーター



の鶴田一郎さんは天草市本渡に生まれ、美人画の作家として知られるほか、2005年に「天草四郎」祈り「」というタイトルの原画作品を発表。近年は仏画や琳派といつた日本の伝統美に魅了され、「鶴田琳派」という新たな世界観を探求しています。

今回鶴田さんには、この『天草のキリスト教関連遺産ガイドブック』の表紙アートを依頼。制作にあたり、2018年の世界遺産登録を目指す「天草の崎津集落」を散策していただきました。（2016年11月当時）

当時の人たちはなにゆえ、キリスト教を信じたのか。



天草四郎をモチーフとした原画作品の構想を練る際に、天草のキリストン史について学んだといい、当時を振り返つてこう語ります。「天草にキリストンの歴史があるということは知つてゐるつもりだつたのですが、繁栄期には島民の8割以上がキリストンだったと聞いたときには驚きました。キリスト教を受け入れ

る天草自体の素質として、どんなものがあつたのか。

天草四郎を描くうえで、

ずっとそんなことを考えていました。重税に苦しむな

かで、救いを求めるような

気持ちでキリスト教にすがつた人も多かつたよう

思います」。

漠然とした不安の中で、ひと筋の光を求めるような

感覚。それは、鶴田さんに

とつてのミューズ（女神）にも重なります。

私の描く美人画は、女性を神格化したものです。

「広告やイラストの仕事に

忙殺されていた若い頃、「自

分を見失いたくない。救わ

れたい」という一心で作画

に取り組み、生まれたのが

この美人画。だから私は、

“ミューズ（女神）”と呼ん

でいます。私にとつて、描くこと自体が祈りのようなものでもあるのです。だからこそ、今回の表紙のイラストでは、可愛らしさや優しさを大切にしました。天

草のキリシタン史には弾圧や潜伏という、暗い時代も

あります。しかし、信仰の中では光明を見出した彼女たちには

しそう。鶴田さんの描いた表紙のイラストには、復活

の象徴として、力強い光が

描かれています。

復活の象徴としての、光。



画家・イラストレーター
鶴田 一郎



1954年、熊本県本渡市(現・天草市)生まれ。彼の描き出す美人画は、まさにアールデコのヨーロッパ的要素と自分の中の日本的なものが見事に融合し、たおやかで華やかな世界を創りあげる。

1987年には、ノエビア化粧品の広告に抜擢され、CMアートの先駆者として人気を博し、彼の作品の中の女性たちは、今も多くの人々を魅了し続けている。

[ホームページ]
<http://www.tsuruta-bijinga.com>





伝来期

1534-1570年

天草のキリスト教の歴史
第一章

+

大航海時代×戦国時代

西洋の文明とともに キリスト教がやつてきた

南蛮人のもたらす武力や文化に魅了され
キリスト教の布教を許した戦国期の日本

天草 天草五人衆の統治、キリスト教が伝来する

日本 室町時代末期の戦国時代

世界 スペイン・ポルトガルの大航海時代

世界はスペイン・
ポルトガルの大航海時代

15世紀中頃、ヨーロッパ

の国々は香辛料を求めてアジア進出を加速しました。

大航海時代のはじまりです。スペインの支援を受け

たコロンブスはインドを目指し、マゼラン艦隊は世界

一周を達成。ポルトガルではバスコ・ダ・ガマがインド航路を開拓し、アジアとの直接交易が始まりました。

**戦国時代の日本を変えた
鉄砲とキリスト教**

ときは戦国時代、日本では戦国大名が各地で戦いを繰り返していました。

1543年に種子島へ漂着したポルトガル人がもた

らした鉄砲や火薬は、戦い

方にも変化をもたらしました。フランシスコ・ザビ

エルが鹿児島でキリスト教布教を始めたのは、この後、

1549年のことです。

コラム/i
キリスト教が
ヨーロッパから
日本へやつてきた理由

大航海時代の背景には、ルネサンスと宗教改革があるといわれます。ヨーロッパ全土に新たな価値観や宗教観が広がり、キリスト教会が2つに分裂するとカトリック教会はさらなる布教地を求めてヨーロッパの外へ進出しました。イエズス会などの宣教師がアフリカ・アメリカ・アジアを訪れ、キリスト教を広めるなかに、日本の地があつたのです。

COLUMN

平戸にポルトガル船が来航 キリスト教の広がり

遣唐使の寄港地として知られ、古くから大陸との交流の玄関口として栄えた平戸。この地に初めてポルトガルの船が訪れたのは、1550年9月のことです。

当時の平戸松浦家当主・松浦隆信はポルトガル船の入港を歓迎しました。貿易によつて得られる利益に着目し、キリスト教の布教を許すとともに、南蛮船を誘致して、商館を設置しました。

天草五人衆が治めた島々
天草にキリスト教が伝来
熊本で菊池氏・阿蘇氏・相良氏等が割拠していた頃、天草の島々は複数の領



天草五人衆

主たちによって統治されていました。「天草五人衆」と呼ばれる志岐氏、天草氏、大矢野氏、栖本氏、上津浦氏などがそうです。

そして戦国期の争いは、方として活躍した天草上島の栖本氏。これを攻める上

津浦氏を支援したのが、戸を統治していた松浦隆信です。松浦隆信によつて鉄砲隊が派遣されると、天草の諸氏はその威力に驚き、最新武器を求めてキリスト教を通じて西洋文化を取り入れようしました。

そして天草五人衆のひと

り、志岐麟泉(鎮経)が1566年にポルトガル人修道士ルイス・デ・アルメイダを招いたことを皮切りに、天草でのキリスト教布教が始まりました。

コラム

天草五人衆の城

大矢野氏……大矢野城
栖本氏……栖本城
上津浦氏……上津浦城

志岐氏……志岐城
天草氏……河内浦城

本渡城

と、天草を割拠する形で城を持つしていました。

また、牛深を拠点としていた久玉氏(天草氏の支族とされる)によつて築かれた「久玉城」でもキリスト教が広まり、1580(天正8)年に司祭館が建設されています。こうして天草領内では年々、信仰が広がつていきました。

COLUMN

日本に初めてキリスト教を伝えたザビエル



フランシスコ・ザビエル

若くしてキリスト教に目覚めたザビエルは、イグナチオ・デ・ロヨラらと「イエズス会」を創設し、キリスト教を伝える宣教師としてヨーロッパからアジアへと布教の旅に出ます。東南アジアの港町マラッカで、のちに洗礼をうける日本人アンジロー（ヤジロー）と出会い、心を動かされたザビエルは1549年、鹿児島に上陸し、布教活動を始めました。

イエズス会の宣教師らが布教活動を行う土壌を整え、ザビエルは東洋の布教拠点であったインドへ戻り、

鹿児島→平戸→山口→豊後にザビエルの布教活動

鹿児島で100人を超える日本人をキリスト教に改宗させたザビエルは、平戸で

布教活動を行い、山口を経由して京都へ向かいました。日本の中心だった京都で布教を加速しようと考えたのでしよう。ところが戦国時代の混乱で荒廃した京都では、そ人の願いは叶いませんでした。再び山口へ戻ると500人以上の人が改宗させ、豊後後で大友宗麟と出会い、豊後布教の許可と宣教師らの保護の約束を取り付けました。

彼は日本人の性格や文化を尊重しながら、後進の宣教師らと布教活動を続けました。1563年に長崎の大村純忠に洗礼を受け、初のキリスト教の誕生させたことでも知られます。

日本にキリスト教の種をまいたのがザビエルとすれば、花を咲かせたのはトル

ザビエルとともに来日九州布教を続けたトルレス

COLUMN

コラム

日本初のメガネはザビエルが持ってきた!?

アジアへの影響力が大きかつた中国へ向かおうとするも途中で病に倒れ、そのまま天涯を終えました。

武器や物資のほか、医療など多くの知識を身につけた宣教師の存在は戦国大名にとって魅力的だったのでしょう。布教に協力する大名や、自ら洗礼を受け「キリスト教の大名」となる人が現れました。1563年、トルレスが洗礼を受けた長崎の大村純忠（バルトロメオ）が、初のキリスト教の大名といわれています。

トルレスとキリストン大名

皇への布教許可を願い出る際の献上品として用意していた”十三品目の立派な賜物“を、山口の大内義隆へ贈りました。そこに含まれていたメガネが、日本に最初に届いたメガネという説があります。

関連施設紹介

SPOT



殉教戦千人塚



キリシタン墓地



アルメイダ記念碑

城山公園(殉教公園)

天草氏の城郭・本渡城跡にある公園。島原・天草一揆の戦没者を祀る殉教戦千人塚や、桜並木も有名。敷地内にはキリシタン墓地をはじめ、アルメイダ記念碑やアダム荒川の殉教碑なども。

住 天草市船之尾町12

☎ 0969-23-1111(天草市觀光振興課)

GLOSSARY

用語解説

コラム

西洋医学

アルメイダは、1566年、志岐氏によつて天草へ招かれます。これが、天草におけるキリスト教の伝来です(9ページに関連記事)。

天草にキリスト教を伝えた多才なアルメイダが医師と商人の顔を持つボルトガル人、ルイス・デ・アルメイダ。貿易商人として日本とマカオを行き來し

ルイス・デ・アルメイダ像
(天草キリシタン館所蔵)

ていた彼は、山口でトルレスと出会いました。戦国時代の荒れた日本の状況に憂慮した彼は、今こそキリスト教が必要だと考え、自らも宣教師となることを決意。多彩な知識や見識を生かして、学識ある僧侶や知識人などを改宗へと導き、遠隔地での布教にも力を尽くしました。

九州各地で布教活動を続けたアルメイダは、1583年に河内浦(現在の河浦町)で布教活動を行い、晩年は天草全域の責任者を務めます。その後も天草氏に招かれ河内浦(現在の河浦町)で布教活動を行い、晩年は天草全域の責任者を務めます。が1583年に河内浦で亡くなりました。

COLUMN

COLUMN

コラム

西洋医学

アルメイダは貿易で手にした多くの富をイエズス会の活動に捧げました。キリスト教の精神に基づき、日本初の乳児院や西洋医学を取り入れた総合病院・医学校を大分に創設するなど、医療・福祉の面でも日本に大きな影響をもたらしました。

宣教師

洗礼

キリスト教を広めるため、外国、特に異教国に派遣される者のこと。

信仰の表明として水に体を浸す儀式で、キリストの死と復活を象徴するもの。キリスト教入信時に行われる儀式です。



十 信仰の島・天草で 南蛮文化が花開く

天草五人衆から小西行長へ。

キリスト教とともにたらされた多彩な文化

天草五人衆 キリスト教が天草の地に根付き、多くの文化や風習をもたらす

日本 安土桃山時代、豊臣秀吉による天下統一

世界 スペインを筆頭とするヨーロッパ諸国のアジアへの侵略

アルメイダと 天草五人衆

「天草五人衆」によつて統

治されていた天草の地。志岐

氏に次いで、1569年に天

草氏もアルメイダを河内浦

へ招きます。こうして天草五

人衆は次々に改宗し、最盛期

には島民の8割がキリシタ

ンとなりました。

「宗教会議(宣教師会議)」

の開催地となつたほか、南

蛮美術学校「画学舎」が開か

れるなど、キリシタン文化

の中心となつた天草。しか

し、志岐氏は南蛮貿易によ

る利益が本来の目的だつた

ため、南蛮船が入港できる

港の不足など、さまざま

要因でうまくいかないこ

一転してキリシタン迫害を行ふようになりました。

勢力を増すキリシタン

豊臣秀吉の伴天連追放令

1600年頃、全国のキ

リシタンは30万人にもの

ぼるほどになつていまし

た。ところがキリスト教を

保護していた織田信長が、

「本能寺の変」により没。信

長亡き世を継いだのが豊

臣秀吉です。

当初、信長同様キリスト

教に理解を示していた秀

吉でしたが、キリスト教徒

たちが神社仏閣を破壊し

ている現状などから、宣教

師たちに不信感を抱き、

1587年に「伴天連追放

令」を発布。当時、キリスト

教は南蛮貿易に大きく関わっていたため、貿易利益

を維持するために秀吉は

当初、宣教師の布教活動を

禁じつつ、南蛮船の来航は

認めました。そしてキリスト教を信仰すること自体

は「黙認」という姿勢を取つ

ていました。

肥後と天草の統治の変遷

一時、佐々成政の領地とな

なった肥後ですが、その後

北部を加藤清正が、南肥後

と天草をキリシタン大名で

もある小西行長が治めるこ

とになりました。

その後、天草五人衆と小西行長との間に戦いが勃発

サン・フェリペ号事件と日本二十六聖人の殉教

秀吉の伴天連追放令から

9年後。マニラからメキシコ

を目指して航海していたス

ペイン船「サン・フェリペ号」

が台風被害によって土佐の

浦戸湾で座礁する出来事が

ありました。秀吉は増田長盛

を派遣し、船の積荷を押収す

るとともに乗組員を拘束し

たのです。

それに怒った船員は、数々の国を植民地化して国を大きく

したスペイン国王を引き合い

に出し、長盛にこう毒づいたと

いいます。

「まず宣教師を送つて住民を懲

柔し、かかるのちに軍隊を送る

のだ。」

報告を受けた秀吉は激怒し、

再び禁教令を発令。石田三成に

1597年2月の「日本二十

し、1590年に小西・加

藤軍の勝利によつて天草五

人衆の統治は終わりを告げ

ました。ところが、1600

年の関ヶ原の戦いで豊臣方

として出兵した小西行長は

京都で斬首されてしまいま

す。これをうけて、唐津藩主

の寺沢広高が天草の新たな

領主となりました。

コラム 信心具の国産化

宣教師たちは日本人に布教していくにあたつて、信仰の道具として、多くの

信心具を与えていきました。しかし、キリシタンの数が増えていくにした

がつて、その数は不足して

いきます。そこで、メダイ

(メダリオン)やロザリオ

などを日本国内で製作す

るようになりました。

信心具の国産化は、日本

におけるキリスト教の繁

栄を意味するものでした。

COLUMN

コラム



ロザリオとつば



メダイ(メダリオン)

(天草キリスト教歴史館所蔵) ※天草市指定文化財

天草で南蛮文化が花開く

南蛮船はキリスト教だけ

でなく、多くの文化や風習をもたらしました。パンやカステラ、ボーロ、カルメ

ラ、サラサ、カツバなどは南

蛮文化の名残を感じさせる

ものです。その中でも、宣教

師がもたらした南蛮柿（なんばんがき）（イ

チジク）は、日本で初めて

天草に入ってきたと言われ

ています。

天草に大学が！

天草コレジヨ

日本人宣教師養成のため

の施設として、各地に「セミ

ナリヨ（神学校）」「ノビシア

ド（修練院）」が誕生。宣教師

育成のための高等教育機関



天草コレジヨ跡公園
(天草市河浦町河浦5253)

「コレジヨ（大神学校）」が天草に開かれた時期もあります。1591年に島原から天草へ移設された「天草コレジヨ」は、河内浦にあつたとされています。

九州各地から英才たちが宣教師になるため集い、ラテン語やポルトガル語、哲学、倫理学、文学、音楽のほか、「地球が球体である」ということも教えられていました。

天正遣欧使節

1582年、宣教師とともに渡欧した「天正遣欧使節」に九州の少年たちがいました。伊東マンショ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦

ジュリアン、中浦ジュリアン、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦

ジュリアンの4人です。彼らはスペインでは国王と、イタリアではキリスト教で最も地位の高いローマ教皇と会いました。ヨーロッパ



の文化に触れ、キリスト教への信仰を深めた少年たちは8年後、帰国。しかしこの時、日本では「伴天連追放令」が出されていました。迫害と弾圧のなか、病死した者や棄教した者、日本を追放された者、布教活動の末に処刑された者、それぞれの苦難を歩んだのです。

天正遣欧使節が持ち帰ったもの

彼らが持ち帰ったもののひとつがグーテンベルク印刷機です。文学書のほか、日本語・ラテン語・ポルトガル語の対訳辞書といった活字印刷物が印刷されました。「天草本」と呼ばれたこれらの書物は、外国人宣教師が日本語や日本の歴史を学ぶ際にも使われました。



天草コレジヨ館

天草本やグーテンベルク印刷機、西洋古楽器など、天草の南蛮文化にまつわる展示多数。

住 天草市河浦町白木河内175-13

☎ 0969-76-0388

営 8:30～17:00 (最終入館16:30)

休 毎週木曜日 (祝日の場合は翌平日)、12/30～1/1

料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円



天草キリスト教館

(南蛮文化の伝来コーナー)

天草のキリスト教史や南蛮文化の伝来などを4つのゾーンにわけて展示・解説しています。

住 天草市船之尾町19-52 (城山公園内)

☎ 0969-22-3845

営 8:30～17:00 (最終入館16:30)

休 毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日)、12/30～1/1

料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円



西洋古楽器 ※レプリカ (天草コレジヨ館所蔵)

ルネサンス・リコダーやハープ、ヴァージナルなど、使節団が持ち帰った南蛮渡來の古楽器。1590年に帰国した4少年は翌年、京都・聚楽第において豊臣秀吉を前に、持ち帰った楽器でジョスカン・デ・ブレの曲を演奏。秀吉は大いに喜んだそうです。



▲伊曾保物語



▲平家物語

天草本 (天草コレジヨ館所蔵)

活版印刷による日本最古のローマ字本など、多くの書物が印刷されました。「平家物語」「伊曾保物語」などはその代表作です。の中でも「伊曾保物語」は、西洋文学を日本語に直した日本初の本として、文体や語法、語彙、発音など国語史・国語学研究の上でも貴重な資料となっています。



グーテンベルク印刷機 ※レプリカ (天草コレジヨ館所蔵)

日本文化に多大な影響を与えた活版印刷機の登場で、本が大量生産できるようになりました。同時に、日本人印刷工の技術養成が行われ、仮名と漢字による金属活字の製作も行われました。

+

徳川家が治めた江戸時代 キリスト教の禁止と鎖国 多くの殉教者が生まれた

キリストン弾圧・迫害。天草は苦難の時代へ
農民の募る不満が起こした島原・天草一揆

天草 寺沢広高が天草領主に。悪政と飢饉から島原・天草一揆へ

日本 德川家康による江戸幕府の誕生～禁教政策

世界 スペインやポルトガル、オランダの南蛮貿易が盛んに

江戸時代の禁教政策

江戸幕府は、豊臣秀吉の
禁教政策を引き継ぎ、さら
に強固なものとしていきま
した。

1612年には天領に、

1614年には全国を対象
に教会の破壊や布教を禁止
する禁教令を発布します。

これをきっかけに、各地の
領主たちはキリストンへ改
宗を促し、さらに厳しい弾
圧を行っていきます。

1622年には、外国人キ
リシタンら55人が長崎の西
坂で火あぶりや斬首などで
処刑されました。この出来
事を「元和の大殉教」と呼び
ます。

これにより、天草の農民
たちは過酷すぎる年貢の取
り立てに苦しむこととなり
ました。

天草領主、寺沢広高の統治
過酷な年貢に苦しむ農民

新たに天草領主となつた
寺沢広高は富岡に城を築
き、城代を置いて天草を統
治しました。平地や大きな
河川が少なく耕地面積の限
られた天草で、寺沢広高は
石高を実際の生産高の倍以
上にあたる4万2千石と過

大申請。



富岡城

天草におけるキリスト教 アダム荒川の殉教

この頃、キリスト教弾圧の波は天草へも押し寄せていました。寺沢時代には1604年、1614年、1629年に、厳しい弾圧が行われています。

宣教師が追放されたのち、志岐の教会を守ることになった日本人のアダム荒川は、信徒の元に子どもが生まれると教会で洗礼を授け、病人を見舞い、死者のための祈りを捧げるなど、信者の世話を力を注いでいました。その献身的な姿勢を見た広高は、彼が伝道を続ける限り改宗が進まぬと考え、アダム荒川に棄教を勧めますが拒否されたため監禁します。さざな拷問を受けながらも信者のために祈りの日々を続ける姿に憤り、アダム荒川を富岡城へ移して斬首。これは1614年のことでした。

なお、信者への献身と殉教が認められ、2008年、アダム荒川はローマ教皇により、天草で初めての福音に列せられました。

アダム荒川はローマ教皇により、天草で初めての福音に列せられました。
1633年、広高の死去により次男・寺沢堅高の支配になると、徳川家光による弾圧命令は厳しくなりました。天草でも見せしめの処刑が行われるなどキリストン弾圧は激しさを増します。

島原における過酷なキリスト教弾圧
島原では、松倉重政が島原城の築城を始め、領民たちに生活が成り立たないほど重税を課しました。また、幕府の意向に従つた過酷なキリスト教弾圧を行います。

COLUMN



正覚寺(南蛮寺跡)のキリスト教墓碑
(天草市有明町上津浦3550)
※県指定有形文化財

コラム

天草のキリスト教墓碑群

熊本県内にはキリスト教墓碑がありますが、多くは天草に集中しています。

天草市有明町にある正覚寺(南蛮寺跡)のキリスト教墓碑は、1606年頃につくられた半円柱形の代表的な墓碑です。五和町二江にある「侍どんの墓」は半円柱形のキリスト教墓碑を、のちに立碑に転用したものと言われています。キリストンとしての足跡を墓碑からも知ることができます。



アダム荒川殉教公園
(天草郡苓北町富岡字中ノ浦834)

悪政と飢饉に

あえぐ農民たち

「島原・天草一揆」が勃発

理不尽すぎる重税や激しい拷問。領主の悪政に苦しめられた島原と天草の農民たちを、さらに不幸が襲います。

1634年から1637年にかけて続発した天変地異により、島原・天草一帯は大飢饉に陥つてしまつたのです。しかし、松倉重政の後を継いだ2代藩主・勝家に容赦はありませんでした。年貢を納められないものは

キリストン同様とみなし、農民にまで拷問を行うようになつたのです。飢饉による餓死者や拷問による死者が相次ぎ、言葉にならないほどの苦しみと不安を抱え

た農民たち。あるとき、口之津の庄屋では年貢を納めきれなかつたことを理由に、

天草から嫁いでいた妊婦が冬の川で拷問を受け、母子ともども命を落とす事件が

起きました。こうしたこと

をきっかけに、島原半島と天草の領民たちは次々と蜂起。キリストン大名の家臣であつた元武士たちも加わつて、本格的に武装・組織化された一揆軍が結成されました。「島原・天草一揆」のはじまりです。

戦いの舞台は 天草・島原へ

天草四郎率いる天草の一揆軍は大矢野を出発し、次第に勢力を増していきました。



「談合島」と呼ばれた島

島原と天草の中間に浮かぶ小さな島「湯島（上天草市）」。天草と島原の領民の代表者たちがこの島に集まり、一揆のための談合を重ねていたこと

度は幕府軍の総大将である板倉重昌を打ち取るなど善戦しますが、最後は幕府軍の総攻撃によつて鎮圧されてしましました。

女・子どもを含む約3万

7千人の死者を出した一揆勢。結果的に敗れたとはいえ、農民や元武士たちの寄せ集めで構成された一揆軍が、

COLUMN

コラム

て名前を改めたのもこの場所です。島には鍛冶水盤が残されており、談合の傍らで鍛冶職人が鉄を鍛えて武器を作つていたのではないかと考えられます。

天草四郎像
(天草キリストン館)

結した戦いを繰り広げたことに、誰もが驚きました。

原城に籠城した人たち

は、キリスト教徒たちでなく、農民・婦女子がいました。これをまとめた天草四郎の神格性は、幕府に大きな衝撃を与えました。幕府はこの一揆を「キリスト教徒の反乱」と位置づけ、以降禁教を厳しくしていきます。

関連施設紹介

SPOT



天草キリストン館
(島原・天草一揆コーナー)

島原・天草一揆の経過を映像や年表で紹介。原城攻防を描いた「島原陣中屏風」も。

住 天草市船之尾町19-52(城山公園内)

☎ 0969-22-3845

営 8:30～17:00(最終入館16:30)

休 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、12/30～1/1

料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円



天草四郎ミュージアム

南蛮文化とキリスト教伝来の様子を紹介。島原・天草一揆のことを伝える映画やジオラマも。

住 上天草市大矢野町中977-1

☎ 0964-56-5311

営 9:00～17:00(最終入館16:20)

休 12/29～1/1、1月・6月の第2水曜

料 大人600円、中学生以下300円、幼児は無料



提供: 荻北町

富岡城／熊本県富岡ビジターセンター
往時の富岡城の一部が復元され、本丸跡では天草の歴史・自然・文化の情報発信も。

住 天草郡大津町富岡字本丸2245-15

☎ 0969-35-0170

営 9:00～17:00(最終入館16:45)

休 水曜(祝日の場合は翌日休)

四郎乱物語

(天草キリストン館所蔵)

※市指定文化財

島原・天草一揆の状況を克明に綴った軍記物語で、7冊から成っています。

島原・天草一揆を題材にした軍記物は、島原半島でも数点書かれていますが、この本は特に天草で書かれたということで、その信憑性も高く貴重なものです。



天草四郎陣中旗

(天草キリストン館所蔵) ※国指定重要文化財

天草四郎が原城に籠城していた時に本丸でかかげていたものといわれています。この旗の中央部には聖杯を配し、そのうえには十字をつけたパンが描かれています。





潜伏期

1639-1864年

天草のキリスト教の歴史
第四章

+

厳しい弾圧に耐え、
密かに信仰を守り抜いた
潜伏キリストン



改宗か。殉教か。それとも潜伏か。
工夫を重ね、継承された独自の信仰

天草 禁制下における厳しい取り締まりのなかで、隠れて信仰を続ける

日本 長い鎖国時代に突入

世界 イギリスの産業革命で、織機や紡績機、蒸気機関など発展

島原・天草一揆以降、島内の建て直しを行ったのは鈴木重成でした。富岡城の代官所を拠点に、多くの地域からの移民を受け入れると同時に、島民に仏教への帰依を勧めました。この政策は、息子の重辰に引き継がれました。

その後の天草は、一時、藩領となりますが、1671年に再び天領となると、小川正辰が天草代官に就任します。しかし、1714年以降は、日田代官・島原藩・西国郡代・長崎代官の預かり地として、支配されていくことになります。

島原・天草一揆以降、島内の建て直しを行ったのは鈴木重成でした。富岡城の代官所を拠点に、多くの地域からの移民を受け入れると同時に、島民に仏教への帰依を勧めました。この政策は、息子の重辰に引き継がれました。

島原・天草一揆以降、島内の建て直しを行ったのは

天草支配の変遷

天草の宗教政策

鈴木重成の時代には、仏教政策も進められます。重成の兄にあたる鈴木正三を招聘したこと为契机に、寺院や神社の建立、キリスト教を非難する排耶書が作成されました。各村にはキリストン高札が掲げられ、これには禁教とキリストンの訴人について記されていました。訴え出たものには褒美を与えるとして、訴人を推奨しました。



鈴木重成・正三像
(富岡城二の丸)

絵踏と影踏



踏絵 ※レプリカ
高札
宗門改帳
(3点とも天草ロザリオ館所蔵)

宗門改と寺請制度の徹底が図られるなかで、「絵踏（踏絵を踏む行為）」は特に厳しく行われ、キリストンではないことの証明となりました。長崎代官や日田代官が支配している時は「絵踏」でしたが、島原藩の支配時は「影踏」と言い、「絵踏」も地域によつて呼び方が異なつていきました。

官が支配している時は「絵

帳」・「宗門人別影踏帳」と異なる文書が作成されています。支配者が変更される天草ゆえにみられる現象でした。

絵踏にあわせて宗門人別帳が提出されます。支配者によつて「宗門人別影踏帳」・「宗門人別影踏帳」と異なる文書が作成されています。支配者が変更される天草ゆえにみられる現象でした。

挙される大事件となりました。なかでも崎津村では、全住民の72%が潜伏キリストンでした。彼らは、十字架やメダリ、仏像などを所持しており、また洗礼名を授かっていることも発覚しました。

結果、検挙された人たちの処分は、絵踏をしていたことなどを理由にキリストンではなく「心得違い」と認定され、重罪にはなりませんでした。

禁教下に起つた「天草崩れ」は、日本キリスト教史上で重要な事件とされています。

踏絵 キリスト教徒の数にあたる5205人が検

島原・天草一揆で、多くのキリストンたちが命を落としました。その亡骸は首塚となりましたが、ここに供養碑が建てられました。これは鈴木重成が1647年に建立したもので、キリストンでありながら仏式で供養されるという、当時の政情を物語ります。

富岡吉利支丹供養碑 島原・天草一揆では、多くのキリストンたちが命を落としました。その亡骸は首塚となりましたが、ここに供養碑が建てられました。これは鈴木重成が1647年に建立したもので、キリストンたちの末路と鈴木代官の思惑を感じることができ史跡のひとつです。

コラム

COLUMN



富岡吉利支丹供養碑 ※国指定史跡

ゆるぎない信仰 潜伏期のキリシタン



禁教下のキリシタンたちは、表面上は仏教徒や神社の氏子を装いつつも、キリスト教信仰をつづける「潜伏キリシタン」となりました。

宣教師はすべて国外へ追放され、教会もないなかで、何世代にも亘って信仰を守ることとは容易なことではなかったでしょう。「オラショ」

と呼ばれる祈りの言葉をほぼ口伝えで受け継いでいたといいます。

潜伏キリシタンたちは信仰が明らかになることを恐れ、神道や民間信仰などと共に存した形で信仰を守ったのです。この時期の祈りの道具や言葉、スタイルが、地域によって

異なるのも無理はありません。

天草諸島では、島原・天草子から孫へと脈々と受け継がれていました。

アワビ（個人蔵）
※一部、崎津資料館みなど屋で展示

一揆のあとも下島の一部などにキリシタンが存在していました。宣教師がいない

潜伏期の信仰は、独自の組織で成り立っていました。

信仰の指導者的な役割を担つた「水方」と呼ばれる

人が洗礼や葬送儀礼、日繩り（カレンダー）をもとに

した祭礼などを執り行いました。崎津の水方屋敷跡に

建つ現在の家屋には、潜伏

キリシタンが信仰の対象としたメダイや十字架など信



岩陰のマリア▲

崎津の海辺では、マリアの目撃現象もよくありました。「岩陰にマリアの影が映った」あるいは「岩自体がマリアの形をしている」など、さまざまです。

COLUMN



経消しの壺

（天草ロザリオ館所蔵）
※県指定有形民俗文化財

時、仏教のお経を消すために使われていたのが「経消しの壺」。壺に聖水を満たし、中にロザリオを入れて使っていましたといわれます。

大切な人をパライソへ 経消しの壺と呪文

潜伏キリシタンは「仏教ではない」と信じていました。しかし、人が亡くなった際に仏式の葬式をしなければ、キリシタンであるとして处罚されてしまいます。そこで表面上は仏式の葬式を行ない、かくれ部屋に潜んだ水方が仏僧の読経に合わせて経消しの呪文を唱えながら、死者をテウス（ゼウス）のもとへ昇天させる役割を果たしていたそうです。この

大好きな人をパライソへ
経消しの壺と呪文

崎津集落の 潜伏キリシタン

住民の多くが漁業を営む

崎津集落では、ロザリオやメダイのほかに、アワビやタイラギといった貝殻の内側に浮かび上がる模様を聖母マリアに見立てて崇敬するなど、漁村特有の信仰形態が受け継がれました。また、豊漁の神である恵比寿像や大黒天などを、デウ

スとして崇拝していたといいます。また、神社との

共生も崎津集落の特徴です。村の守り神である「崎津諏訪神社」で「あんめんりゆす（アーメンデウス）」と唱えながら手を合わせていたといい、自らの信仰と神社の様式をうまくすり合わせていたことがうかがえます。



天草ロザリオ館

潜伏期の信仰で用いられていた信
心具のほか、復元された隠れ部屋の
様子などもみられます。

住 天草市天草町大江1749

☎ 0969-42-5259

営 8:30～17:00(最終入館16:30)

休 毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)、12/30～1/1

料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円



天草キリスト館

(一揆後の天草復興とキリスト教信仰コーナー)

崎津や大江の民家などで発見され、
潜伏期の信仰で用いられていた信
心具などを見ることができます。

住 天草市船之尾町19-52(城山公園内)

☎ 0969-22-3845

営 8:30～17:00(最終入館16:30)

休 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、12/30～1/1

料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円



▲マリア観音像
(天草ロザリオ館所蔵)



▲恵比寿
(個人蔵)



▲大黒天
(個人蔵)



崎津諏訪神社

大江集落の 潜伏キリシタン

大江集落の潜伏キリシタ
ンは、海や田畠へ働きに行
くふりをしてひそかに祈り

を捧げていました。干潮時
にしか辿り着けない海辺の
洞窟に石造りの観音像を備
えた「穴観音」や、山中に十
字架やマリア観音像などを
埋めた祈りの塚「隠し御堂」
がそうです。

自宅の屋根裏に備えた
「隠れ部屋(P17)」でひつそ
りと祈りを捧げる家もあり
ました。天神様の帽子に十
字を刻んだものや、十字架
入りの天秤棒などもあり、
工夫を凝らして信仰を受け
継いでいたことがわかりま
す。



復活期

1865-1934年

天草のキリスト教の歴史
第五章

明治維新、開国 キリスト教禁制の解除 日本の新たな夜明けへ



聖なる信仰と宣教師の再来

信徒たちのために建てられた新たな教会

天草 復活と教会の献堂

日本 開国・江戸幕府の終焉、そして明治維新へ

世界 アメリカ南北戦争時代

です。

翌年、再来日したペリーとの間で「日米和親条約」を締結、1858年には、米・英・仏・露・蘭と修好通商条約を結び、欧米諸国との外交が再開されていきました。西洋の文明や産業、医療などをモデルとして取り入れながら、日本は、それまでにない変化を遂げていくのです。

黒船がもたらした近代思想開国がもたらしたもの

200年以上も鎖国を続けてきた日本が、近代化に開眼したきっかけのひとつが、幕末期に来航した黒船の存在です。1853年、浦賀沖に訪れたペリー率いるアメリカ艦隊は、日本に大きなインパクトを与えました。

翌年、再来日したペリーとの間で「日米和親条約」を締結、1858年には、米・英・仏・露・蘭と修好通商条約を結び、欧米諸国との外交が再開されていきました。西洋の文明や産業、医療などをモデルとして取り入れながら、日本は、それまでにない変化を遂げていくのです。

一方で、教会下に入るなどを拒み、これまでの教えを守り、宣教師も持たない独自の信仰形態を継続する「かくれキリスト教」と呼ばれる人もいました。先祖代々受け継がれてきた習俗を捨てることに抵抗を覚えた人も多かつたのでしょうか。

COLUMN

「潜伏キリスト教」の多くはカトリックへ
独自の信仰を貫く
「かくれキリスト教」も
江戸幕府のキリスト教禁教令により、棄教を装つたものの水面下でキリスト教信仰を続けた人のことを「潜伏キリスト教」と呼びます。彼らの多くは、禁教が解かれたのちに洗礼を受け、カトリックに復帰していきました。

なお、天草地域では昭和30年代まで存在していた

コラム

「潜伏キリスト教」の多くはカトリックへ
独自の信仰を貫く
「かくれキリスト教」も
江戸幕府のキリスト教禁教令により、棄教を装つたものの水面下でキリスト教信仰を続けた人のことを「潜伏キリスト教」と呼びます。彼らの多くは、禁教が解かれたのちに洗礼を受け、カトリックに復帰していきました。

大浦天主堂の建立

「信徒発見」と「高札の撤去」

開国によつて長崎では、外大浦一帯を埋め立てて、外国人居留地がつくられました。幕府は日本人に布教活動を行わないことを前提に、在日外国人のための祈りの場として「大浦天主堂」の建設を容認。1865年に完成した大浦天主堂はその美しさとものめずらしさから「フランス寺」と呼ばれ、多くの見物客を集めなど話題を呼びました。

完成から1ヶ月。大浦天主堂に十数人の日本人の姿がありました。そのうちの一人の女性が、祈りを捧げていたフランス人宣教師ブティジヤンの背後に近づき

「私たちは神父様と同じ心であります」と囁いたので

す。これが、宗教史上の奇跡の一つと呼ばれる「信徒発見」です。

この出来事は、西洋諸国に驚きと感動をもつて伝えら

れましたが、まだ日本は禁教下。告白したキリストンたちは改宗を強制され、激しい迫害に遭います。しかし、西洋諸国から激しい抗議が相次ぎだこともあります。明治政府は1873年に禁教の高札を撤去しました。しかし、依然として禁教は続きましたが、多くの人には解禁と映りました。条件付ながら禁教が解かれたのは1889年の大日本帝国憲法まで待たなくではありませんでした。



大江教会



崎津教会

「復活の象徴」として建てられた2つの教会

建てられた2つの教会

禁教が解かれた直後の天草では、布教が進むと同時に、教会堂の建設も行われました。

■大江教会

1892年に来島したフランス人宣教師・ガルニエ神父は82歳でこの地で没するまで、40年間布教に努めました。信者たちからの寄付金や労働奉仕をもとに1933年、多くの教会建築を

撤去しました。しかし、依然として禁教は続きましたが、多くの人には解禁と映りました。条件付ながら禁教が解かれたのは1889年の大日本帝国憲法まで待たなくではありませんでした。

崎津では1888年、潜伏キリストンとして信仰を続いた信者から崎津諏訪神社の隣の土地の寄付を受け、木造の旧崎津教会が建てされました。(現在は跡地)

崎津教会

崎津教会

崎津・今富集落について

復活期以降のキリストン

史跡は、天草下島の西海岸に

集中しています。深く入り組

んだ羊角湾の小さな入江に

あるのが、崎津・今富集落で

す。ふたつの集落を歩いてい

ると、一年を通じて、多くの

民家の軒先で注連縄を見る

ことができます。これは、天

草下島の多くの地域で見ら

れる光景で、キリシタンだと

疑われないための禁教下の

工夫とされ、独特的の景観と

なっています。

古くから、漁業が盛んな

崎津に対し、今富は農林業

が盛んでしたので、隣り合

うこの2つの集落では、互

いの産物を分け合いながら



カケ

集落の信仰と 生業を支えた神父道

土地の狭かつた崎津には、密集した民家の間に細い通路がつくられました。これを「トウヤ」といいます。そして、車もなかつた時代、ガ

これらの道では、生業だけではなく文物の交流も行われており、崎津は中世以来の海路の要衝、今富は陸路における交通の要衝であつたことがわかります。



トウヤ

ルニ工神父が、大江教会と崎津教会とを往復する際に使った「神父道」と呼ばれます。崎津・今富・大江・高浜

峠道が今も残されています。崎津・今富・大江・高浜

集落にまたがる、矢筈岳を越えるルートで、崎津の「メ

ゴイナイ」と呼ばれる生活物資の行商もこの道を使つ

ていました。

かくれキリシタンゆかりの風習 「白飾り」と「幸木飾り」



今富地区には天草で唯一、かくれキリシタンゆかりの正月飾り「白飾り」を伝承する人がいます。川嶋富登喜さんと、甥の川田富博さんです。川嶋さんは父の代から神道に改宗していますが、祖父の代まではかくれキリシタンの信仰を続けていました。幼い頃に祖父の様子を見ていた川嶋さんは、「地域に伝わる歴史や文化を絶やしてはならない」という思いで、祖父が行っていた正月飾りを受け継いでいます。幸木飾りと白飾りは、とかくれキリシタンの飾りが融合したものだと伝えられています。

■ 白飾り
土間に逆さにした白を伏せ、その上に杵と鏡餅とダイダイを飾ります。杵を2本交差させるように並べることで、十字架を表し、ひっくり返した白のなかには、煮しめと白飯をマリア様へのお供えとして隠すのです。

■ 幸木飾り
正月が近づくとまず行うのが、「幸木(さわぎ)飾り」と呼ばれるもの。天井から下げるカシの木の中心に、藁・葉のついた真竹の先端・モロモク(シダ)・ダイダイを飾り、両端に葉月の人参と大根を3本ずつと、白神を巻いた鍬などの農耕具をかけます。幸木は不幸があると木ごとははずして海に流すため、左右に毎年2本ずつ増やしていく繩が、何事もなく家族が安泰に暮らした年数の証でもあります。

以前は12月25日の早朝、まだ誰もいない山に入り「聖水」を汲んでいたそうでその日には仏壇の線香を焚いてはいけないという決まりもあつたといいます。

■ 幸木飾り

以前は12月25日の早朝、まだ誰もいない山に入り「聖水」を汲んでいたそうでその日には仏壇の線香を焚いてはいけないという決まりもあつたといいます。

関連施設紹介

SPOT



大江教会

ロマネスク様式の白亜の建物で、堂内には外海の出津教会のド・ロ神父による5枚の「ド・ロ版画」も。

住 天草市天草町大江1782
☎ 0969-22-2243 ((一社)天草宝島観光協会)
営 9:00~17:00
休 なし (教会行事開催時は入館不可)



崎津教会

禁教期に絵踏が行われた庄屋役宅跡に建てられており、「復活の象徴」でもあります。

住 天草市河浦町崎津539
☎ 096-300-5535
(株)KASSE JAPAN (天草市委託事業者)
※教会拝観には、事前予約が必要です。
営 9:00~17:00
休 なし (教会行事開催時は入館不可)



崎津集落ガイダンスセンター
崎津・今富集落の歴史的・文化的な価値を学ぶことができます。界隈の観光ガイドなども入手できます。

住 天草市河浦町崎津1117-10
☎ 0969-78-6000
営 9:00~17:30
休 12/30~1/1



崎津資料館みなど屋

崎津教会そばにある資料館。潜伏キリシタン期の信心具などが展示されています。

住 天草市河浦町崎津463
☎ 0969-75-9911
営 9:00~17:00 (最終入館16:30)
休 12/30~1/1

料 大人100円、
高校生以下無料



長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産登録が決定
「天草の崎津集落」

■概要
 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、2000年以上に亘る厳しい禁教政策のなかで長崎と天草地方の潜伏キリシタンが既存の社会・宗教と共に生しつつ、自らの信仰を継続したことの物語る貴重な証拠です。

このうちの「天草の崎津集落」は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の12の構成資産のひとつとして、2018年世界文化遺産に登録されました。

COLUMN



コラム

禁教期から継続される土地利用は現在の崎津教会に変わりましたが、崎津諏訪神社や主要な道路、宅地などが継続されていることが分かります。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」構成資産位置図



[熊本県]天草市 [長崎県]長崎市・佐世保市・平戸市・五島市・南島原市・小倉賀町・新上五島町

- | | | | |
|-----------------------|----------------------------|--------------------------------------|-------------|
| 001 原城跡 | 002 平戸の聖地と集落
(春日集落と安瀬岳) | 003 平戸の聖地と集落
(中江ノ島) | 004 天草の崎津集落 |
| そとめ しつ
005 外海の出津集落 | そとめ
006 外海の大野集落 | 007 黒島の集落 | 008 野崎島の集落跡 |
| かしらがしま
009 頭ヶ島の集落 | 010 久賀島の集落 | なるじま
011 奈留島の江上集落
(江上天主堂とその周辺) | 012 大浦天主堂 |

COLUMN

世界遺産の種類

文化遺産… 豊かな普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観など

自然遺産… 豊かな普遍的価値を有する地形や地質、生態系、絶滅のおそれのある動植物の生息・生育地など

複合遺産… 文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもの

コラム

世界遺産とは

地球の生成と人類の歴史によつて生み出され、過去から現代へと引き継がれてきたかけがえのない宝物を、人類共通の遺産として未来へと引き継ぐために設けられたものです。世界遺産登録は世界的な価値が認められると同時に、世界の代表としてこの遺産を未来に向け、大切に守っていくという責任を伴うものであります。

天草・熊本の出来事



フランシスコ・ザビエル

日本の出来事

1549 (天文18年)	フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸、日本にキリスト教伝来
1550 (天文19年)	平戸開港
1551 (天文20年)	ザビエル、平戸に布教
1553 (天文21年)	大村純忠洗礼、日本初のキリスト教大名
1558 (永禄元年)	エリザベス女王が即位

世界の出来事

1560 (永禄3年)	天草五人衆の一人、志岐城主志岐鎮経、イエズス会宣教師派遣を要請
1566 (永禄9年)	修道士ルイス・デ・アルメイダ、志岐布教
1569 (永禄12年)	天草にキリスト教布教
1570 (元龜元年)	志岐鎮経洗礼
1570 (元龜元年)	アルメイダ、河内浦(現天草市河浦町)に布教
1578 (天正6年)	大友宗麟、キリスト教に改宗
1580 (天正8年)	インド管区から準管区として独立、有馬と安土にセミナリオ設立
1581 (天正9年)	白井にノヴィシャド設立、有馬晴信、キリスト教に改宗
1581 (天正9年)	豊後府内にコレジヨ設立

トピックス



天草キリストian館所蔵

TOPICS

天草にキリスト教を広めたのもザビエル？

ザビエルによる宣教活動が日本へのキリスト教の最初の伝来とされ、これは教科書などに記述されて一般にも広く知られていますが、天草にキリスト教を広めたのは、ルイス・デ・アルメイダ修道士なのです(P8)。

TOPICS

当時の天草を支配していたのは？

豊臣秀吉が全国制覇を成し遂げつつあった頃、天草は5人の豪族が支配していました。この「天草五人衆」は、時に勢力争いを演じながらも、姻戚関係を結ぶなど、比較的まとまりを持っていたようです(P6)。

トピックス





1582	アルメイダ、 (天正11年) 河内浦で帰天する	1583	アーレンダ、 (天正11年) 河内浦で帰天する
1587	大矢野種基、キリスト教の布教を禁止する (天正15年) 要請、受洗	1588	佐々成政、肥後国領主となる (天正16年) 国衆一揆後、北半が加藤清正、 南半が小西行長に与えられる
1589	天草五人衆、小西行長の与力 (天正17年) になる	1590	小西・加藤他連合軍による (天正17年) 天草征伐(天正の天草合戦)
1590	上津浦氏改宗 (天正18年)	1591	小西・加藤他連合軍による (天正18年) 天草征伐(天正の天草合戦)
1591	コレジヨ、島原・加津佐から (天正19年) 天草に移設	1592	天草コレジヨで「ドチリナ・ (文禄元年) キリシタン(教理本)」を刊行
1592	天草コレジヨ、島原・加津佐から (慶長元年) 移される	1593	秀吉、朝鮮出兵(文禄の役) (文禄元年)
1593	コソロフスコ会日本布教開始 (慶長元年)	1594	サン・フェリペ号事件 (慶長2年)
1594	コレジヨ、天草から長崎に (慶長2年) 移される	1595	二十六聖人殉教事件 (慶長2年)
1595	小西行長敗れ、肥後は加藤 (慶長5年) 清正に与えられる	1596	サン・フェリペ号事件 (慶長5年)
1601	天草が唐津藩主、寺沢広高領 (慶長6年) となる	1600	関ヶ原の戦い (慶長5年)
1602	ドミニコ会士、 (慶長7年) 頼島(鹿児島)に上陸、布教	1602	イギリス (慶長7年) 東インド会社設立
1602	オランダ (慶長7年) 東インド会社設立		



グーテンベルク印刷機※レプリカ(天草コレジヨ館所蔵)

TOPICS

豊臣秀吉による キリスト教の弾圧強化

もともと1587年に伴天連追放令を出してキリスト教の布教を禁止していましたが、秀吉は貿易の利を考えて弾圧をそれはほど厳密には行っていませんでした。しかしこのサン・フェリペ号事件をきっかけに弾圧を強化することになったのです(P10)。

TOPICS

初の日本語書物の 活版印刷は天草から!

彼らがヨーロッパから持ち帰ったグーテンベルク印刷機によって日本語書物の活版印刷が初めて行われました(P12)。

天草・熊本の出来事

1601 (慶長6年) 寺沢広島の支配開始

1604 (慶長9年) 志岐・上津浦以外のレジデンシア(住居)・教会を破壊

1606 (慶長11年) 廃止されていた崎津レジデンシアが復活(慶長16年まで)

1603 (慶長8年) 德川家康、征夷大将军に任命
1605 (慶長10年) 幕府、フランシスコ会に江戸での日本人に対する布教を禁止

1610 (慶長15年) マードレーデデウス号事件

1612 (慶長17年) 岡本大八事件。江戸幕府、直轄領に対し禁教令

1613 (慶長18年) イギリス東インド会社、日本の平戸に商館設立

トピックス



天草ロザリオ館所蔵

日本の出来事

1604 (慶長9年) フランス東インド会社設立

1614 (慶長19年) 江戸幕府、禁教令
1614 (慶長19年) 大坂の役。島原藩有馬直純、県藩に転封
1616 (元和2年) 幕府、「伴天連宗門御禁制奉書」を發布
(元和2年の禁令)

1621 (元和7年) 唐津藩士三宅藤兵衛、富岡城代として天草に着任

1622 (元和8年) 宣教師、キリシタン長崎西坂で処刑
(元和の大殉教)
55名が



富岡城(提供:琴北町)

世界の出来事



TOPICS

江戸幕府による禁教令で殉教者が続出

徳川家康によって江戸幕府ができると、キリシタンの弾圧が強化されました。そのため、宣教師の追放、教会の破壊、キリストンの処刑などの大迫害がはじまり、長崎をはじめ多くの殉教者がいました(P13～)。

1627 (寛永4年) 寺沢堅高、家督を継ぎ、唐津藩主(天草領主)となる。

1628 (寛永5年) 終踏み始まる

1629 (寛永6年) 三宅藤兵衛による天草領内キリシタンの大検挙

1632 (寛永9年) 加藤忠広(清正の子)の改易、細川忠利が熊本藩主に

1633 (寛永10年) 天草最後の宣教師死去

1633 (寛永10年) 江戸幕府、日本人海外渡航禁
止令發布

1633 (寛永10年) ガリレイが宗教裁判をうける

1637 (寛永14年) 島原・天草一揆起ころ
本渡合戦で三宅藤兵衛敗走、のちに自刃



アダム荒川殉教図(天草キリストン館所蔵)



島原・天草一揆ジオラマ(天草四郎ミュージアム 提供:上天草市)



天草四郎陣中旗(天草キリストン館所蔵)

TOPICS

島原・天草一揆

島原半島南部と天草諸島の農民が、租税の重圧、キリスト教弾圧からの解放を意図して、幕藩権力に抗戦した一揆はなぜ起きたのでしょうか。(P15)。



提供:上天草市

トピックス

天草・熊本の出来事

1641	天草が天領となる。初代代官就任
1644	として鈴木三郎九郎重成就任
1654	鈴木伊兵衛重成、 (承応3年) 2代代官就任
1664	天草が戸田忠昌領となる (寛文4年)
1670	戸田忠昌、転封のため天草 (寛文10年) 再び天領となる
1674	天草が戸田忠昌領となる (寛文4年)
1677	幕府、「宗門改役」の儀ニ付御代 (寛文11年)
1684	幕府、1万石以上の諸大名に (寛文4年)
1687	対し専任の宗門改役設置を 命じる (貞享4年)
1691	幕府「宗門改役」の儀ニ付御代 (元禄5年)
1698	直轄地の代官に対し宗門人 別帳の作成を義務付ける (元禄8年)
1715	寺請制度の確立 (延宝元年)
1717	新井白石「西洋紀聞」を記す (正徳5年)
1776	8カ条の覚書を発令し、キリ シタン類族帳の作成を命じる (貞享4年)
1779	シタン類族帳の作成を命じる (元禄5年)
1789	長崎新例(貿易規制)の發布 (文化2年)
1804	今富村で牛殺し発覚、キリ シタンの嫌疑により調査 (文化元年)
1805	高浜、大江、崎津、今富4か村 で潜伏キリシタン発覚 (文化2年) 合計5205人(天草崩れ)
1806	キリシタン発覚事件の幕府 (文化3年) 下知。絵踏勅行、人別調印 改心を誓わせる

日本の出来事

1639	江戸幕府、「かれうた御仕置之奉 (寛永16年)
1640	書(ボルガル船の日本渡航 を停止する老中奉書)を発令 (寛永17年)
1641	幕府、宗門改役を設置。初代 平戸オランダ商館を長崎出 島に移す(鎮国の完成) (寛永18年)
1644	井上筑後守政重が就任 (承応3年)
1654	初めて切支丹禁制の高札を 設置 (明暦3年)
1657	肥前大村藩郡村で潜伏キリ シタンの検挙(郡崩れ) (寛永18年)
1660	豊後崩れ (寛治3年)
1661	濃尾崩れ (寛文元年)
1664	幕府、1万石以上の諸大名に (寛文4年)
1673	対し専任の宗門改役設置を 命じる (延宝元年)
1677	幕府「宗門改役」の儀ニ付御代 (貞享4年)
1687	8カ条の覚書を発令し、キリ シタン類族帳の作成を命じる (元禄5年)
1715	新井白石「西洋紀聞」を記す (正徳5年)
1776	シタン類族帳の作成を命じる (貞享4年)
1779	長崎新例(貿易規制)の發布 (文化2年)
1789	イギリス名譽革命 (元禄8年)
1799	アメリカ独立宣言 (安永5年)
1804	フランス革命 (文化元年)

世界の出来事

TOPICS	トピックス
様々な形を変え 継続された信仰	島原・天草一揆後、 荒れ果てた天草の復興へ

見つかると重い罪になることから、信仰は潜伏して行われるようになります。かくれ部屋を作って祈ったり、役人の目を盗み様々な形で信仰は継続されました(P19)。



天草口ザリオ館所蔵

TOPICS	トピックス
島原・天草一揆後、 荒れ果てた天草の復興へ	きびしい年貢の取り立て と、島原・天草一揆によって荒れ果てた天草を、幕府 は天領(幕府の直轄地)とし、復興させるために、代 官として幕府から任命されたのが鈴木重成 でした(P17)。



	1873	長崎県神ノ島の西政吉、大江 （明治6年）	1853	ペリー、浦賀に来航 （嘉永6年）
	1878	に布教（キリストン復帰） （嘉永7年）	1854	日米和親条約締結 （嘉永7年）
	1878	大江村・今富村のキリストン （明治11年）	1857	絵踏の廃止が長崎で通達 （安政4年）
	1882	14名からの転宗願却下 （明治15年）	1858	日米修好通商条約締結 （安政5年）
	1882	フェリエ神父、大江・崎津就任 （明治15年）	1865	信徒発見 （元治2年）
	1883	フエリエ神父、大江に教会を 建てる （明治21年）	1867	徳川慶喜、大政奉還 （慶應3年）
	1888	旧崎津教会建つ （明治21年）	1868	王政復古の大号令 （明治元年）
	1889	（明治16年） に布教（キリストン復帰） （明治21年）	1870	切支丹禁制の高札、太政官 （明治2年）より布告（五榜の掲示） （明治4年）岩倉遣外使節団、 歐米に派遣
	1892	フェリエ神父鹿児島へ転出後 （明治25年）任にガルニエ神父就任 （明治40年）「五足の靴」、大江教会にガル ニエ神父を訪ねる （昭和2年）12月、ハルブ神父來島、崎津教 会に就任 （昭和8年）現在の大江教会建つ （昭和9年）現在の崎津教会建つ （昭和21年）日本国憲法公布、信仰の自 由が明文化される	1889	大日本帝国憲法公布、条件 付きで信仰の自由が認めら れる （明治22年）
	1894	（昭和14年）第2次世界大戦	1894	1869 （明治27年）日清戦争 （明治37年）第一次世界大戦 （大正3年）
	1903		1894	1869 （明治27年）日露戦争 （大正3年）
	1934		1904	1871 （明治4年）ドイツ帝国、成立 （文久3年）黒人奴隸解放宣言 （文久3年）アメリカ南北戦争開戦 （天保13年）香港島をイギリスに割譲 （天保11年）清・イギリス間でアヘン戦争 （天保11年）南京条約、香港島をイギリスに割譲

トピックス

今も残る
信仰と風習

天草で唯一、かく
れキリストンゆか
りの正月飾り「白
飾り」を伝承する
人が。「白飾り」と
「幸木飾り」とは？
(P24)



TOPICS

宣教師の再来

キリスト教禁教が
解かれると、天草に
は長崎から宣教師
が派遣され、潜伏キ
リストンから熱烈
な歓迎を受けまし
た(P22)。





天草へキリスト教が伝来して450年。キリスト教の伝来は、天草に大きな変化をもたらし、キリスト教の歴史を伝える数々の史跡や施設が、各地に点在しています。天草の文化と南蛮の文化が融合した、「天草のキリスト教関連遺産」を巡る旅へ出かけましょう。

歴史探訪マップ

天草全域
モデルコース

† 南蛮の風と天草の風が渦巻いたキリストン史 450年の旅

天草ぐるっと周遊バス



天草の魅力を集めた3つのコースで島旅が満喫できます。なかでもB・Cコースは世界文化遺産「天草の崎津集落」を巡るコースになっています。

- Bコース 世界文化遺産「天草の崎津集落」コース
- Cコース 南あまくさの食と文化をめぐるコース

Bコース…(株)KASSE JAPAN 九州産交コールセンター
TEL.096-300-5535
Cコース…(一社)天草宝島観光協会
TEL.0969-22-2243

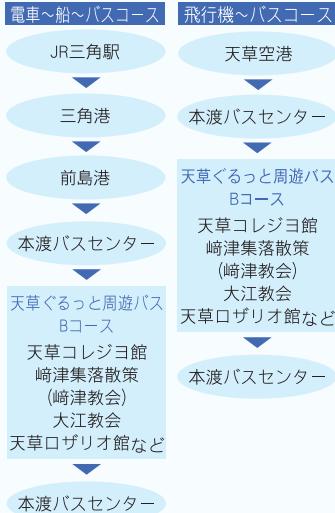
天草ぐるっと周遊バス

検索

モデルコース2

車窓から楽しむ 天草の景色コース

電車・バスの車窓から天草の景色を楽しみながら天草キリストン史にふれる旅を。



モデルコース3

世界遺産を巡る 熊本・長崎の旅

世界文化遺産に登録されている万田坑や三角西港、そして2018年に登録された天草の崎津集落、さらに長崎キリストン史にもふれる、数日間にわたる旅を。



熊本の
世界文化遺産
をチェック!



+

天草の玄関口 自然体感アクティビティや 海山の美食も満載

「湯島(談合島)」への定期船が出ており、キリシタン墓碑群や、天草五人衆でもある大矢野氏の居城跡があります。温泉や豊富な魚介、加工品などが並ぶ道の駅のほか、海や山を満喫するアクティビティも充実。



天草・島原の乱に由来する「談合島」のほか、近年は「猫の島」とも呼ばれます。湯島大根や魚介も有名。

☎ 0964-26-5512 (上天草市観光おもてなし課)

天草四郎ミュージアム

南蛮文化とキリスト教伝来の様子を伝える施設。映像や南蛮船のレプリカ、天草・島原の乱のジオラマも。

住 上天草市大矢野町中 977-1

☎ 0964-56-5311

営 9:00 ~ 17:00 (最終入館 16:20)

休 12/29 ~ 1/1、1月・6月の第2水曜

料 大人 600円、中学生以下 300円、幼児は無料





見る
View



天草釣堀レジャーランド

潮干狩りも楽しめる釣り堀、レンタル竿もあるので手ぶらでOK。釣った魚はその場でバーベキューも。

住 上天草市大矢野町中 5697-1
☎ 0964-59-0188 営 8:00~16:00
休 不定期(HPに掲載、要確認)



遊ぶ
Activity



マリンスポーツ

シーカヤックやクルージングに
ウェイクボード、水上バイク、フラ
イボードと多彩です。

☎ 0964-56-5602((一社)天草四郎観光協会)

上天草カントリーパーク

花海好展望台

帆船をイメージした展望台からは、
360度のパノラマビューを楽しめます。
有明海に沈む夕日は絶景。

住 上天草市大矢野町上

☎ 0964-26-5512

(上天草市 観光おもてなし課)

藍のあまくさ村

キリストン墓碑
(峯公園内)

道の駅 上天草さんぱーる

大洞窟の宿
湯楽亭

上天草カントリーパーク
花海好展望台

スパ・タラソ天草

江樋戸

天草四郎観光協会

天草四郎ミュージアム

266

樋合海水浴場
(パールサンビーチ)

樋合島

フィッシャリーナ天草
マリーナ・カーニャ

天草五橋
3号橋(中の橋)



食べる
買う
Food・Shop



車えび

夏の天然車えびに加え、冬場に出荷される養殖車えびも日本有数の生産量を誇ります。



黄金のハモ

夏に旬を迎える「黄金のハモ」。不知火海で育ち、黄金色に輝く姿と肉厚で脂ののった肉質が特長です。



コノシロ

コハダの成魚「コノシロ」。この界隈ではバッテラや姿寿司のほか、混ぜ飯スタイルのぶえん寿司も有名。



パール柑 (天草文旦)

黄色い大玉の柑橘類。淡い黄色の果肉は爽やかな酸味と上品な甘みが後を引きます。あまくさ晩柑も美味です。



海産物の練り物

ちくわやかまぼこといった練り物も多彩。天草では練り物のことを「天ぶら」とも呼びます。



道の駅上天草さんぱーる

魚介や天草大王、柑橘類や野菜といった旬の食材や、花など、上天草の季節を感じる特産物が勢揃い。

住 上天草市大矢野町中11582-24
☎ 0964-58-5600 営 8:00~17:00
休 不定休



藍のあまくさ村

全長15m! 巨大な天草四郎像が目印。天草四郎ちくわをはじめ海産物、菓子などの天草土産が揃います。

住 上天草市大矢野町登立910
☎ 0964-56-5151 営 9:00~18:00(季節・曜日により変動あり)
休 12/31、1/1



楽しむ
Event

天草パールラインマラソン大会
天草五橋のうち3つの橋を渡り、上天草の海と島々を眺めるマラソンは天草の春の風物詩でもあります。(3月第2日曜日)



天草四郎サイクリングフェスタ
潮風と海景色を楽しむサイクリングイベント。ファミリー向けコースから本格派の中・長距離コースなども。(12月頃)



天草伊勢えび&車えび 海老えびフェア
天草の秋の味覚、伊勢えびと車えびの両方を各宿泊施設や各店で味わうことができるグルメフェアです。(8月下旬頃～12月下旬)

☎ 0964-56-5602 ((一社)天草四郎観光協会)



大矢野温泉(スパ・タラソ天草)
タラソテラピーの魅力たっぷりな海水プールや海を眺めながらくつろぐ露天風呂や大浴場、家族風呂などがあります。

住 上天草市大矢野町上732-14 ☎ 0964-56-1126
営 スパ……10:00～22:00 (受付21:30まで)
タラソ……10:00～22:00 (受付21:00まで)
※要事前問い合わせ

休 毎月第2・第4火曜日(祝日の場合は営業)

大矢野温泉(大洞窟の宿 湯楽亭)



全長33mという壮大なスケールの大洞窟温泉が露天まで続き、非日常を味わえる空間。赤湯と白湯の2種類の温泉が名物です。

住 上天草市大矢野町上弓ヶ浜5190-2
☎ 0964-56-0536 **営** 10:00～14:00 (受付)
18:30～20:00 (受付)
料 日帰り入浴／1回 800円 (消費税・入湯税込)
※要事前問い合わせ

九州オルレ 天草・維和島コース

古墳群からスタートし、天草の島々や橋などを一望する小高い山、海岸線などを歩くコースです。R4.2月に認定10周年を迎えたました。

☎ 0964-26-5512 (上天草市 観光おもてなし課)





日本三大松島のひとつ トレッキングや恐竜化石 ダイナミックな自然を満喫

南蛮寺跡や、天草・島原の乱・緒戦の地など、キリスト教の中心となっていましたが、弾圧により破壊され、1646年にその跡地に正覚寺が建立されました。境内には樹齢400年の南蛮樹(ナギの木)もあります。

住 天草市有明町上津浦3550
☎ 0969-53-1111(天草市有明支所)

提供:天草市文化課



正覚寺(南蛮寺跡)

もとは南蛮寺(キリスト教の教会堂)があり、キリスト教の中心となっていましたが、弾圧により破壊され、1646年にその跡地に正覚寺が建立されました。境内には樹齢400年の南蛮樹(ナギの木)もあります。



学ぶ
Study



御所浦町

御所浦島

見る View



御所浦白亜紀資料館

御所浦恐竜の島博物館として、リニューアルオープンに向け工事中。仮事務所にて、恐竜の化石など約80点を展示。

住 天草市御所浦町御所浦4310-5 ☎ 0969-67-2325
営 8:30~17:00(最終入館16:30)
休 年末年始(12/29~1/3)



天草ビズターセンター

雲仙天草国立公園の自然や歴史を紹介する施設です。干潟の観察会や海ホタルの観察会などが開催される日も。

住 上天草市松島町合津6311-1 ☎ 0969-56-3665
営 9:00~17:00 休 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

トレッキング

九州オルレ天草・松島コース

次郎丸嶽や天草観海アルプスの山々が点在する上島。絶景ポイントを有するルートがたくさんあります。

☎ 0964-56-5602
(一社)天草四郎観光協会



クルージング

天草五橋クルージング、サンセットクルーズ、世界遺産三角西港を海から眺めるクルージングも。

☎ 0964-56-5602 ((一社)天草四郎観光協会)

天草五橋

九州本土と天草をつなぐ5つの橋は、天草パールラインとも呼ばれます。それぞれの橋の趣を楽しむのも一興。

- 道の駅有明(有明リップルランド)
- 有明温泉センター さざ波の湯

四郎ヶ浜ビーチ

島原・天草一揆
緒戦の地

上津浦IC
上津浦城跡

有明町

天草市

大草上島中央広域農道
(天草オレンジライン)

栖本町

栖本城跡
栖本温泉センター
河童口マン館

倉岳大えびす像
えびすビーチ

牧島

御所浦(本郷)

恐竜足跡
発見の地
(弁天島)

遊ぶ Activity



イルカウォッチング

ミナミハンドウイルカの生息する通詞島沖まで船を走らせるイルカウォッチング。海景色をゆっくり楽しめます。

☎ 0969-56-2458 (シークルーズ)



ちりめんじやこ

上天草近海で取れるちりめんじやこ。天日干しで仕上げた乾燥ちりめんじやこと、釜揚げタイプがあります。

タコ

有明の夏の風物詩が干しダコの風景。街道沿いの店や民宿では地ダコを使つたタコ料理を味わえます。



姫ガザミ(ワタリガニ)

不知火海で育つワタリガニは、別名姫ガザミと呼ばれれます。秋から冬が旬で、味噌汁や茹でガニなどで味わいます。



リゾラテラス天草
全席オーシャンビュー
のレストランやベーカリー
を備えたショップでは、天草の食の土産
も販売。

住 上天草市松島町合津北前島6215-16

☎ 0969-56-3450 営 11:00~17:30 休 なし

※レストラン・カフェの営業時間は異なります。

※営業時間は曜日・季節により変更があります。



**御所浦物産館
しおさい館**
魚介や地元の農産物を
手頃な価格で販売。島
の特性にちなんだ恐竜
グッズも人気です。

住 天草市御所浦町御所浦4310-8

☎ 0969-67-1234 営 8:30~18:00

休 1/1(元日)



食べる
買う
Food・Shop

天草大王

日本最大級の地鶏で、弾力のある肉質と旨味が特徴です。ダシの旨味は絶品。鍋物や煮物、焼き物に。



梅肉ポーク

青梅と黒砂糖を混ぜて漬け込み、発酵させた特製梅肉エキスを与えて育てた、すこやかで旨味のある豚肉。

真珠

穏やかな浅瀬の海に囲まれた上島エリアは、日本有数の真珠の産地として知られています。



楽しむ

Event



天草五橋祭

天草五橋の開通を記念して毎年開催されるお祭りです。海洋花火大会なども行われ、賑わいます。(9月頃)



さざ波フェスタ

ステージイベントや海上花火大会のほか、あまくさサンドアートフェスティバルも同時開催。(7月頃)



ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 上天草温泉郷
天草大王や車エビなど海山の幸を食べながら、美しい風景の中を巡り、温泉につかるまで上天草を体感し尽くすイベントです。(10月～11月頃)

癒す
Healing



松島温泉

松島に浮かぶ島々を望む絶景の温泉です。立ち寄り湯施設のほか、旅館やホテルでも堪能できます。(写真は松島温泉 龍の足湯)

☎ 0964-56-5602 ((一社)天草四郎観光協会)



有明温泉センター さざ波の湯

道の駅 有明（リップルランド）に併設された温泉。

住 天草市有明町上津浦1955

☎ 0969-53-1126 営 13:00～21:00(最終入館20:30)

休 毎週水曜日(祝日の場合は翌日)

料 大人(高校生以上) 500円、70歳以上400円
中学生300円、小学生・3歳以上200円



ミオ・カミーノ天草

2019年10月開設の観光拠点。全天候型バーベキューテラスやカフェ有り。ボルダリングやレンタサイクルなど体験メニューも豊富。

住 上天草市松島町合津6215-1

☎ 0969-33-9500 営 9:00～17:30

休 4～11月：無休、12～3月：第1、第2水曜日



道の駅 有明 (リップルランド)

海を一望する高台の上。シンボルタワーが目印です。温泉施設に加え、物産館やレストランも。

住 天草市有明町上津浦1955

☎ 0969-53-1565 営 9:00～18:00

休 毎週水曜日
※レストラン・温泉の営業時間は異なります。



イルカと出会い、 キリスト教を学ぶ

天草キリスト教館や歴史民俗資料館など、天草のキリスト教史を分かりやすく学ぶことができるエリアです。食事処も多彩で、イルカウォッチングや塩工房の点在する島、海を望む焼酎蔵などもあります。



学ぶ
Study



城山公園(殉教公園)

天草五人衆・天草氏の支城「本渡城」跡地で桜の名所としても有名。島内各所から集めた墓碑を祭るキリスト教墓地や島原・天草一揆の戦没者を祀る殉教戦千人塚もある。

住 天草市船之尾町12

☎ 0969-23-1111 (天草市観光振興課)

天草キリスト教館

4つのゾーンで紹介されるキリスト教史。島原・天草一揆で使用された武器や天草四郎陣中旗などもあります。

住 天草市船之尾町19-52 (城山公園内)

☎ 0969-22-3845

営 8:30～17:00 (最終入館16:30)

休 毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日) / 12/30～1/1
料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円



ペーが墓

五和町にあるキリスト教墓碑群のひとつ。「ペー」とは洗礼名の一部であるという説や、古いスペイン語で神父のことを示す「パーテル」であるという説もある。

住 天草市五和町
御領1849-1

☎ 0969-32-6784
(天草市文化課)



イルカウォッチング

200頭以上のミナミハンドウイルカが生息する五和沖。漁船の間を戯れるように泳ぐイルカの姿に和みます。

住 熊本県天草市五和町二江通詞島沖合

☎ 0969-33-1500

(道の駅 天草市イルカセンター)



道の駅 天草市イルカセンター

イルカウォッチングの総合受付をはじめ、野生のイルカの生態などをVR(仮想現実)などを使って楽しく学ぶことができる体験コーナーや、新鮮な海の幸を使ったメニューを提供する漁協レストラン、天草の特産品販売コーナーもあります。

住 熊本県天草市五和町二江4689-20

☎ 0969-33-1500

営 9:00～18:00(冬季は17:00まで)※漁協レストランは11:00～15:00(L.O14:30)

休 12/31、1/1 料 無料 H <https://www.amakusa-dolphin.jp>

遊ぶ

Activity



住 熊本県天草市宮地岳町5516-1

☎ 0969-28-0384

営 9:00～18:00 料 無料

休 第1・第3水曜日、12/31～1/1



天草文化交流館

建物は国の登録有形文化財。伝統工芸や民芸技術の伝承に取り組んでいます。陶芸などの体験ができます。

住 天草市船之尾町8-25

☎ 0969-27-5665 営 9:00～17:00

休 毎週月曜日(祝日の場合翌日)、12/29～1/3

総合交流ターミナル
施設 メール

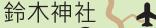
通詞島 二江 イルカウォッ

道の駅
天草市イルカ

五和歴史民俗
資料館

五和町

47



天草下島北部広域農道

城山公園(殉教公園)

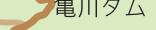
天草キリストン館

・

本渡城跡

天草文化交流館

24



天草ゆ楽園

天

天草
ゆ楽園

新和緑村

中田

見る

View



本渡歴史民俗資料館

民具をはじめ歴史考古資料や美術工芸品を展示し、天草の歴史を知ることができます。

住 天草市今釜新町3706 ☎ 0969-23-5353

営 8:30～17:00(最終入館16:30)

休 每週月曜日(祝日の場合翌日)、12/29～1/3



五和歴史民俗資料館

天草の製塩や漁の歴史を知ることのできる資料館。沖の原遺跡から発掘された古墳時代の製塩土器も。

住 天草市五和町二江384 ☎ 0969-33-1645

営 8:30～17:00(最終入館16:30)

休 每週月曜日(祝日の場合翌日)、12/29～1/3



海鮮丼・寿司

3つの海に囲まれた天草下島。新鮮魚介を味わう名店がいくつもあり、海鮮丼や寿司を味わえます。



あわび

あわび養殖が盛んな五和町では秋のあわびまつりも。



ウニ

美しい海の良質な海藻を食べて育ったウニは絶品。3月～5月に旬を迎えるムラサキウニ、夏が旬のアカウニは現地では非。



食べる
買う
Food・Shop



天草南蛮柿(いちじく)スイーツ

和洋菓子店では、天草南蛮柿を使ったスイーツが誕生しています。旬の夏には「天草南蛮柿フェア」も。



天草黒牛

天草で生まれ、天草で肥育された黒牛のうち肉質のいいものだけが認定。さらっとした脂身が人気です。



天草オリーブ園 AVILO

自社農園で収穫から24時間以内の搾油にこだわったオリーブオイルなどを販売。

住 天草市五和町御領1580-1

☎ 0969-32-0366

休 年末年始

営 9:00～17:00



天草とれたて 市場

JA直営の市場には、野菜や魚、肉、そのほか加工品がずらりと並びます。おいしい惣菜や弁当も。

住 天草市瀬戸町2-1

☎ 0969-32-6888

休 1/1、2

営 9:00～18:00

楽しむ

Event



イルミネーションイベント

毎年、市内各地でイルミネーションが実地されています。(冬頃)



西の久保公園 天草花しょうぶ祭り

里山の棚田を利用した全国的にも珍しい菖蒲園に、約 25 万本の花しょうぶが咲き誇ります。(5月～6月頃)



天草ほんどうハイヤ祭り

総勢約 2500 人が参加するハイヤ道中縄踊りやキュートな子ハイヤで賑わう祭り。花火大会も見ものです。(7月～8月頃)

総合交流ターミナル施設 ユメール

通詞島の小高い丘の上。大浴場から島原半島や雲仙岳を見渡せ、屋上展望所からは大海原を一望できます。



住 天草市五和町二江547

☎ 0969-26-4011

営 11:00～20:00(最終入館19:30)

休 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

料 70歳以上400円、大人500円、中学生300円、
3歳～小学生200円、3歳未満無料

天然温泉施設 ペルラの湯舟

ホテルアレグリアガーデンズ天草の敷地内。木立のなかにある「森・山の湯」や開放的な「海の湯」の露天湯も。

住 天草市本渡町広瀬996

☎ 0969-23-2626

営 6:00～8:30(最終入館8:00)、13:00～22:00(最終入館21:30)

休 年中無休

料 中学生以上700円、小人350円





サンセツライン 天草西海岸に 広がる絶景



天草・島原の乱の激戦地となつた富岡城や、復活の象徴として建てられた大江教会など多くのキリシタン関連遺産がのこされているエリアです。また、世界一の白さを誇る良質な天草陶石を産出し、いくつもの窯元が点在しています。

富岡城 熊本県富岡ビジターセンター

往時の富岡城の一部が復元され、本丸跡では天草の歴史・自然・文化の情報発信も。

住 天草郡芥北町富岡字本丸2245-15



提供: 芥北町

0969-35-0170

営 9:00~17:00(最終入館16:45)

休 毎週水曜日(祝日の場合は翌日)

学ぶ Study

天草コレジヨ館

天草本やグーテンベルク印刷機、西洋古楽器など、天草の南蛮文化にまつわる展示多数。

住 天草市河浦町白木河内175-13

0969-76-0388 営 8:30~17:00(最終入館16:30)

休 毎週木曜日(祝日の場合は翌平日)、12/30~1/1

料 大人300円、高校生200円、小・中学生150円



五足の靴 文学遊歩道

五足の靴一行がたどった道を、遊歩道として整備。大人がのんびり歩いて50分のコースと2時間コースがあります。

住 天草市天草町下田

0969-42-1111(天草市天草支所)

コラム

パーテルさんを訪ねて
「五足の靴」一行が
やってきた



個人蔵

COLUMN

の
である

牛深温泉センター
やすらぎの湯

産島
海水浴場
産島



若き日の詩人、北原白秋と与謝野鉄軒、木下李太郎、吉井勇、平野万里の5人は、大江教会の宣教師ルドヴィコ・ガルニエ工神父に会うための旅に出ました。平戸や長崎、島原、天草のキリストian史跡を巡り、困難の時代に思いをはせた一行は、1907年に天草を訪れました。その時の印象を紀行文「五足の靴」にこう綴っています。

『昨日の疲労(つかれ)で、今朝は飽くまで寝て、それから此地の天主教会を訪ねに出掛けた。所謂「御堂(みだう)」はやや小高い所に在つて、土地の人が親しげにバアテルさんバアテルさん(呼ぶ敬度な仏蘭西(ぶらんす)の宣教師が唯一人、飯炊男の「茂助(もをすけえ)」と共に棲んでいる

見る

View



おっぱい岩

海水とガスの力でできた変形岩で、女性の乳房にそっくりなことが名前の由来。ご利益スポットとしても有名。

マリンダイビング &海水浴

妙見浦や牛深沖などにはサンゴが生息しており、ダイビングのメッカです。天然磯ピーチも多く、海水浴も楽しめます。

☎ 0969-22-2243

((一社)天草宝島観光協会)



グラスボートで海中遊覧

牛深海域公園を遊覧するグラスボート。色とりどりの魚やサンゴ、海藻が揺れる様子など息をのむ美しさです。

住 天草市牛深町2286

☎ 0969-73-1173 ((株)ブルーマリンサービス)

休 毎週火曜日(祝日、7~8月を除く)

妙見浦

妙見岩をはじめとする奇岩と海食洞、岩礁と真っ青な海が織りなす風景。その美しさから国の名勝及び天然記念物に指定されています。



牛深ハイヤ大橋

イタリアの建築家たちによって設計されたスタイリッシュな橋は、今や、牛深のシンボルになっています。

遊ぶ

Activity



陶芸体験

「高浜焼 寿芳窯」「内田皿山窯」などでは、絵付けや手びねり、ろくろといった陶芸体験を楽しめます。

☎ 0969-22-2243 ((一社)天草宝島観光協会)

天草陶石

世界一の品質で伊万里焼や有田焼の原材料にもなる「天草陶石」。島内でも天草陶磁器が続々と生まれています。



富岡城

- ・富岡城
- ・熊本県富岡ビズターセンター
- ・芥北町歴史資料館
- ・アダム荒川殉教公園

富岡海水浴場

富岡

富岡吉利支丹供養碑

芥北町温泉センター 麟泉の湯

国照寺

内田皿山焼

天草

388

天草

24

天草下島

アマジサカシカシ

下田温泉街

妙見浦 五足の靴 文学歩道

天草町

白鶴浜海水浴場

388

高浜焼寿芳窯 上田家庄屋跡

西平椿公園

388

道の駅 崎津

河内浦城跡

河浦町

天草ロザリオ館

388

小高浜海水浴場

388

世界文化遺産 「長崎と天草地方の 潜伏キリストン関連遺産」

河浦海上

天草の崎津集落

コテージ

牛深町

35

288

久玉城跡

グラスボート (牛深海域公園)

388

道の駅うしぶか海形館

388

牛深ハイヤ大橋

388

砂月海水浴場



天草南蛮柿 (いちじく)

天正遣欧少年使節を引率したメスキータ神父がポルトガルから苗木を持ち帰ったとされ、現在でも、イチジクスイーツが多彩。

伊勢海老

九州でも有数の伊勢海老の産地。春に産卵を終えた伊勢海老が一番美味しくなる秋から冬の時期に合わせ、グルメフェアも。



天領岩牡蠣

苓北町で養殖されるブランド岩牡蠣。身が大きく濃厚で、食べ応えも十分。4月～7月下旬が旬です。



COLUMN



せんなど汁
せんなど餅

干したサツマイモを蒸してもち米とともに搗いた保存食。スライスして炙って食べても美味です。

ジャガイモやサツマイモをすりおろし、だんごにした汁物料理。独特の食感がクセになります。



食べる
買う
Food・Shop
+

天草ちゃんぽん

長崎、小浜と並ぶ、日本三大ちゃんぽんのひとつ。各店個性派ぞろいの具沢山ちゃんぽんは必食です。



あか巻

漁師の体力消耗を補うために「船上食」として食された天草の郷土菓子。



あまくさんソルト

島内に点在する塩工房でつくられる、天草の海の塩。

コラム



イモを使つた郷土料理

稻作に向かない畑ではジャガイモやサツマイモが栽培されていました。飢饉や重税に苦しむ農民たちの主食として用いられることもしばしば。そうした歴史を垣間見る郷土料理がたくさんあります。



道の駅うしぶか海彩館

回遊式の巨大な水槽が出迎える道の駅。海産物や土産物の販売のほか、食事処もあります。

住 天草市牛深町2286-116

☎ 0969-73-3818

営 資料館・物産館・観光案内所…9:00～18:00
レストラン…11:00～20:00 (OS19:00)

休 毎月第3火曜日(レストラン・資料館)、物産館は無休

楽しむ

Event



牛深ハイヤ祭り

江戸時代から伝わる牛深ハイヤ節。全国40カ所以上のハイヤ系民謡のルーツとされています。道中総踊りは壮観です。(4月頃)



教会の見える崎津みなどのフェスティバル

崎津集落を望む漁港広場での夏のイベント。打ち上げ花火やステージイベントなどで賑わいます。(8月頃)



窯元めぐり・天草大陶磁器展

春と秋に開催される天草西海岸窯元めぐりは新作に出会えるチャンス。11月には県内外の窯元が集まる大陶磁器展も。

癒す
Healing



下田温泉街

700年の歴史を持つ良泉。公衆浴場や足湯のほか、ホテル・旅館で多彩な湯浴みを楽しめます。

住 天草市天草町下田北1310-3(下田温泉ふれあい館ぷらっと)

☎ 0969-27-3726



苓北町温泉センター 麟泉の湯

天草灘や千々岩灘を一望できる大浴場と、浮き風呂、気泡風呂、家族風呂などを備えた天然温泉です。

住 天草郡苓北町志岐1281 ☎ 0969-35-3770

営 10:00~21:00 休 毎月第1、第3木曜日(祝日の場合翌日)

料 大人500円、小中学生250円



牛深温泉センター やすらぎの湯

野趣溢れる露天風呂などがあり、地元の人たちにも人気の温泉施設。ハーブが香る蒸し風呂などもあります。

住 天草市久玉町2193 ☎ 0969-72-6666

営 10:00~20:00 休 每月第3火曜日

料 大人500円、中学生300円、3歳~小学生200円、幼児無料



入江に佇む教会

信仰を越えて支え合う
ぬくもりに満ちた集落



重なり合う屋根の間を走るのは「トウヤ」と呼ばれる住民たちの生活路。崎津諏訪神社から崎津教会へと続く参道や、山手の今富地区のキリスト教遺跡など、独特の景観は、歩いてこそわかる魅力が満載です。



海上マリア像

崎津教会の信徒でもある元漁師らが建てたもの。漁の安全と豊漁を祈る姿も。

住 天草市河浦町崎津 ☎ 0969-78-6000(崎津集落ガイダンスセンター)



崎津まち歩き＆海上のマリア像クルージング

集合場所 天草漁協崎津直売所きんつ市場

コース 崎津諏訪神社→崎津教会→トウヤ→海上のマリア像クルーズ
※コースの順序は変更する場合あり。

所要時間 2 時間程度 **申込期限** 実施日の10日前まで

料 金 4人以上…3,500円／人、3人…4,000円／人、2人…4,900円／人、
小学生以下…540円／人、3歳以下…無料

最少催行人員 2人(大人) **申 込 先** (一社)天草宝島観光協会 0969-22-2243



COLUMN

ます。
ア像が建てられて
います。
現在、子部屋の建物
はあります
が、崎
津・大江の信者たちに
より、十字架とマリ

れました。
身寄りのない子どもたちを収容し、養育しました。これが「子部屋」の由来です。この事業は後任のガルニエ神父に引き継がれ、大正初期まで続けられました。

1882年に大江教会へ赴任したフェリエ神父はこの場所に孤児院を建て、崎津・今富・大江地区の

コラム

根引きの子部屋

崎津・大江のカトリック信者らが、今も

祈りを捧げる場所が
あります。根引山の中

腹にある「根引きの子部屋」。



- ① **KUROSHIO** (土産・商店)
☎ 0969-79-0223
- ② **なかしき商店** (干物)
☎ 080-5250-9543
ようかく
- ③ **羊角水産** (干物)
☎ 0969-79-0513
- ④ **MARIN** (土産・商店)
☎ 0969-79-0037
- ⑤ **AMAKUSANTA** (土産・商店)
☎ 090-4205-3946
- ⑥ **宮下商店** (土産・商店)
☎ 0969-79-0007
- ⑦ **うらかべ商店** (干物)
☎ 0969-79-0310 ☎ 070-1254-3841
- ⑧ **浦崎商店** (干物)
☎ 0969-79-0703
- ⑨ **ロザリオの塩** (土産・商店)
☎ 080-5204-1827
- ⑩ **海月～くらげ～** (飲食店)
☎ 0969-79-0051
- ⑪ **花つばき／フォトハウスモリタ** (飲食店・デジカメプリント)
☎ 0969-79-0755 (兼FAX)
- ⑫ **郷土文化伝承館「南風屋」** (土産・商店)
☎ 0969-79-0858
- ⑬ **天草レインボーシェル** (土産・商店)
☎ 080-5608-6861
- ⑭ **シンフォニー** (飲食店)
☎ 0969-79-0800
- ⑮ **なぎ ごはん屋 凪** (飲食店)
☎ 0969-79-0541
- ⑯ **天草漁協崎津直売所 きんつ市場** (土産・直売所)
☎ 0969-79-0333



**旧網元岩下家
よらんかな**
令和元年8月オープンの
崎津集落散策用の休憩所で、漁労施設「カケ」も見学できます。入館無料。

住 天草市河浦町崎津613 **営** 9:00～17:00
☎ 0969-32-6784 **(最終入館16:30)**
(天草市文化課)

休 12/30～1/1



詳細は(一社)天草宝島観光協会ホームページをチェック

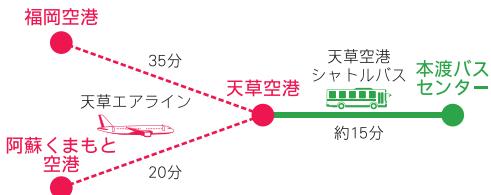
(一社)天草宝島観光協会 <https://www.t-i-island.jp>



福岡・熊本方面からアクセス (おすすめのアクセス)



飛行機でのアクセス



車でのアクセス

◎福岡方面から高速道路を利用する場合
九州道松橋ICより国道266号を経由し、天草方面へ



◎熊本市方面から一般道を利用する場合

熊本市から国道3号で宇土市へ入り国道57号線を通って天草方面へ



バスでのアクセス



鹿児島方面からアクセス (おすすめのアクセス)



長崎方面からアクセス (車両の積載がない場合)



長崎方面からアクセス (車も乗船可)





天草のキリスト教関連遺産ガイドブック Oração de Amakusa オラシオ・デ・アマクサ

2017年3月 初版
2021年3月 第7版(改訂)
2022年12月 第8版(改訂)

【企画・発行】熊本県 企画振興部 地域・文化振興局 文化企画・世界遺産推進課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1 TEL.096-333-2153

【表紙】鶴田一郎

【監修】安高 啓明（熊本大学 文学部 歴史学科）

【協力】天草市 観光文化部 文化課・観光振興課、上天草市 経済振興部 観光おもてなし課、苓北町
商工観光課、天草市立キリシタン資料館、一般社団法人 天草宝島観光協会、一般社団法人
天草四郎観光協会、国立大学法人 熊本大学、株式会社 鶴田一郎事務所



天草のキリスト教ガイドブック 検索

【編集・デザイン】株式会社 シーズプランニング

※掲載内容は、2022年12月末現在のものです。発行後に、掲載内容や営業内容(住所、電話番号、料金、営業時間、定休日など)が変更になることや、臨時休業等で利用できない場合があります。また各種データを含めた掲載内容の正確性には万全を期しておりますが、おでかけの際には電話等で事前に確認・予約されることをお勧めいたします。なお、本誌に掲載された内容による損害等は、補償いたしかねますので、予めご了承くださいますようお願いいたします。